

# 外部評価委員による主な意見

【令和元年度 第2回】令和2年3月4日

## 1 将来性豊かな入学者の確保

- ・何よりも、農業に意欲のある人材を1人でも多く確保する取り組みが重要である。就職環境が好調であることや農業センサスのデータでは農業者数全体が減少している現状の中で、30数名の受験者実績は妥当な人数ではないか。
- ・農業外の職業に一旦就職し、適しないと退職した若者に対し、農大の魅力をPRしてみてはどうか。

## 2 高い技術力や経営力の習得、資格等の取得向上

技術に加え、経営管理も重要なので強化をお願いしたい。

## 3 すべての学生の進路決定

研修受入農家間の意見交換や情報共有を行うことで、学生の先進農家研修がもっと充実するのではないかと。

## 4 社会人からの就農者の確保

- ・新規就農の場合は、短期間での技術習得は難しいことから、農大で基礎技術をしっかり学び、その後、トレーニングファーム等で高度な技術を習得したうえで就農した方がスムーズな経営につなげることができるのではないかと。
- ・新規参入者への支援も良いが、親元就農へも制度的支援をした方が多く確保できるのではないかと。

## 5 農業者研修の充実

道路交通法の改正に伴い、情報周知を図るとともに大型特殊免許研修の充実強化をお願いしたい。